

● 中国農村調査（2010年）調査概要

・ 目的

経済学は、効用関数に一定の前提をおき、人々がその効用を最大化するように合理的に行動するという前提を採用している。しかしその前提が本当に正しいかどうかについては、ほとんど検討されていないのが現状である。われわれは現在の経済学が前提としている人々の合理性と効用関数についての見方が正しいのかどうかを明らかにする目的でアンケート調査を実施する。

・ 調査年

2010年に調査を行った。

・ 調査票に含まれている質問項目

調査票の概要は次のとおりである。

- ① 危険回避度、時間選好率、習慣形成、消費の外部性に関する一般質問項目
- ② 個人・世帯の基本属性、家計・消費等に関する基本的属性項目

● 調査方法

・ 調査設計

➤ 母集団

新規抽出標本による。抽出台帳は、現地抽出。

➤ 新規抽出標本の母集団

- ◇ 主要4省（湖南省、湖北省、四川省、遼寧省）に居住する20～69歳の一般男女個人。
- ◇ サンプルサイズ：合計1000サンプル。各省ごとに250サンプル、性×年齢で以下のように均等に割り付けた。
- ◇ 調査エリアの選択は、大都市近郊（北京・上海・広州などの直轄市）および調査を行うのに不相当と思われる治安の悪いエリア（チベット・新羅・雲南など）を除いた省のGDPをリストアップし、これらの省の平均GDP前後のエリアを選択した。

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	小計
男性	28s	28s	28s	28s	13s	125s
女性	28s	28s	28s	28s	13s	125s
合計	56s	56s	56s	56s	26s	250s

➤ 抽出方法：3段階多段抽出法

➤ 調査時期・合計調査数・有効回収数・回収率

※回収数ベースの調査

年度	調査実施時期	合計調査数	有効回収数	回収率
2009年	2010年1月16日～23日	—	1000	—

・ 地点および対象者の抽出方法

➤ 調査地点に偏りの無いように以下の3段階を設定し、サンプリングを行う

1. 各省から3つの都市を抽出
2. 各対象農村から20-23人の対象者を抽出
3. 各都市の周辺から3-4つの対象農村を抽出

各省から3つの都市を抽出するにあたり、各省における代表性と調査内容への理解度を勘案した上で、調査が実施可能な中間レベルの都市を選定する。今回は2008年中国各省統計年鑑をもとにそのGDPを指標とした。

* 黄色くハイライトしている都市は調査候補市（緑色は前回実施市）

* また、現地調査会社と相談の上、実査が不可能または困難な市は除いている。

省	GDP（億元）	市	GDP（億元）	GDP平均
湖南 (華中エリア)	11563.12	长沙	3000.98	825.93
		岳阳	1105.74	
		常德	1049.70	
		衡阳	1000.09	
		株洲	909.50	
		郴州	734.10	
		湘潭	654.76	
		永州	592.68	
		邵阳	561.57	
		娄底	528.40	
		益阳	511.28	
		怀化	503.68	
		湘西	226.66	
		张家界	183.98	

省	GDP（億元）	市	GDP（億元）	GDP平均
湖北 (華中エリア)	8989.49	武汉	3141.90	528.79
		宜昌	820.90	
		襄樊	785.45	
		荆州	519.63	
		孝感	480.79	
		黄冈	473.74	
		黄石	466.68	
		荆门	420.08	
		十堰	411.42	
		咸宁	286.75	
		随州	257.62	
		恩施州	210.35	
		鄂州	208.71	
		仙桃	190.40	
		潜江	156.63	
		天门	151.48	
神农架	6.96			

省	GDP（億元）	市	GDP（億元）	GDP平均
四川 (西北エリア)	10721.94	成都	3324.17	510.57
		绵阳	673.50	
		绵阳	648.40	
		宜宾	529.05	
		达州	510.41	
		南充	508.13	
		乐山	452.97	
		凉山彝族自治州	450.58	
		泸州	403.90	
		自贡	394.15	
		内江	374.61	
		资阳	373.97	
		攀枝花	345.26	
		眉山	343.75	
		广安	338.84	
		遂宁	304.95	
		广元	208.46	
		雅安	176.75	
		巴中	176.12	
阿坝藏族羌族自治州	105.10			
甘孜藏族自治州	78.87			

省	GDP（億元）	市	GDP（億元）	GDP平均
遼寧 (東北エリア)	12541.50	沈阳	3177.00	895.82
		大连	3055.00	
		鞍山	1350.00	
		营口	556.00	
		盘锦	553.60	
		锦州	551.90	
		抚顺	547.00	
		本溪	475.60	
		辽阳	470.00	
		丹东	462.00	
		葫芦岛	419.70	
		铁岭	405.00	
		朝阳	325.10	
		阜新	193.60	

- 対象都市別に無作為にその周辺の 4 つの農村を抽出する。抽出する方法は、まず対象都市の周辺地域を東西南北にエリアを 4 つの区に分ける。各区毎にこの区に属するすべての農村に番号をつけ、無作為に 1 つの農村を抽出する。4 つの農村の無作為抽出を行ったあと、その中の 2 つの農村があまりにも近い場合、片方をキャンセルし、そのキャンセルされた農村が所属する区の中から再度抽出を行うものとする。（各都市の抽出マップは別添ファイル「地図（対象農村の抽出）」参照。）
 - 対象農村ごとに 20～23 人の対象者を抽出する。農村部の居住宅を 1 軒 1 軒訪問し調査協力を仰ぎ、Kish Grid 法によって対象者を決める。抽出された対象者が不在の場合は、アポイントメントをとり再訪問する。
 - 別途、各省ごとにサンプル（各 250s）を性・年代で割付ける。各農村のサンプル数もできるだけ平均的に割り付け、サンプルが埋まったセルの性・年齢は Kish Grid に世帯構成員を記入するときに除外して対象者抽出を行う。
- ・ 調査方法：訪問面接調査法
 - 調査員は現地民間調査機関から派遣した。
 - ・ 調査の実施：株式会社日経リサーチに委託した
 - ・ データの制約より、データセットの重み付け（サンプリング・ウェイト）変数は利用可能ではない。